

問 本町の子どもから高齢者の方まで全員がコロナ禍による健康二次被害を受ける可能性がある。健康二次被害についての周知や予防策の提案がまだまだ不足しているのではないか。

民生部長 地域での交流や外出機会が減り足腰が弱った感じがする等の声がある。

問 閉じこもってフレイルになる、心の悩みも多くなる等出てくる。関係部署が連携し相談体制も整えできるところから事業も進めていく。

民生部長 引き続き、事業は始めていける部分は早期に行い、施設も開放できる範囲内でおこなう。しっかり健康二次被害を進めず、回復する取組をしていく。

※フレイルとは「加齢により心身が衰えていく状態」



本町の災害避難誘導看板を

問 災害避難誘導看板を、各自治会に設置されている町の掲示板に表示できないか。

総務課長 今160か所ある自治会の掲示板に表示するには、自治会長・区長に趣旨を説明してこれが可能か、協力確認しながら協議を進めていく。



河川沿いに設置された災害避難誘導看板



問 6月17日の豪雨により宮平川の氾濫が発生し、車の水没や、浸水被害等の多大な被害をもたらした。宮平川の氾濫対策の徹底して欲しいがどうか。



町長 令和3年は、氾濫、浸水域の範囲で、草木処理、堆積土砂の除去を実施し、令和4年度は起点から終点までの浚渫を実施予定である。

また、令和3年度の委託業務で宮平川、手登根川の流域の浸水被害や降雨記録、土地利用状況等を基に総合的に分析、解析し、浸水被害の軽減に向けた対策を予定している。

問 今回は内水氾濫もあったか。

町長 17日の豪雨については河川の氾濫及び内水もあったと受け止めている。

問 排水処理に関しても課題が残ると思うが、今年度の委託業務の中で排水に関する調査も行うか。

町長 排水処理も要因の一つと判断するが、これから行われる調査ではっきりとした原因究明ができると思う。



あふれる宮平川

こんな質問もしました。

- 宮平交差点について
- 交通安全対策について
- 医療的ケア児の支援について

QRコードを読み取ることで各議員の質問の様子を見ることができます。